第２次竹田市総合計画の策定体系

計画策定の目的

人口減少、少子・高齢化による人口構造の変化やコロナ禍など社会経済情勢が変化し続ける中で、将来像やまちづくりの目標などを示す竹田市の最上位の計画を策定します。

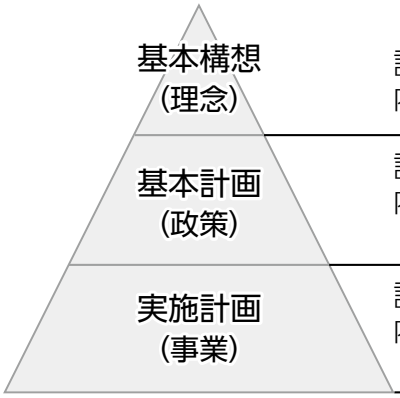
新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、日々刻々と変化する社会情勢には、現場での取り組みの中で柔軟かつ迅速に対応していきつつも、「どういうまちを目指していくのか」といったまちづくりのコンセプトは揺らぐことなく強い信念を持って守り、育て、将来へつないでいく必要があります。

また、人口減少による担い手の減少や人材不足などは、あらゆる産業において深刻な問題となっています。限られた財源の中でＩＣＴを活用した省力化、自動化、働き方のあり方など、最大限の効果を得られる計画的な事業実施が求められます。

そのためには、5年後、10年後の本市がどのようなまち・社会を目指すのかを市民の皆さんとともに議論し合い、目指すべき「竹田市」のあり方を描き、市民と行政が一体となってまちづくりの施策を計画的に推進することが重要です。

その指針となる総合計画を策定し、目指すべきゴールと進むべき道を明確にしていきます。

◆総合計画イメージ図



基本構想(理念)	計画期間：10年間（令和５年度～14年度） 内　　容：基本理念（将来像やまちづくりの指針）
基本計画(政策)	計画期間：５年間 内　　容：分野別の政策と取り組みの基本方針（実現に向けた施策の目標）
実施計画(事業)	計画期間：３年間（毎年度見直し） 内　　容：具体的な事業（計画的に実施するため必要な事業を明らかにした計画）

今後の主なスケジュール

令和３年度

計画課題の把握・分析	10月～11月
市民アンケート調査	11月～12月
施策の課題調査	１月～３月
総合的課題分析	３月～４月

令和４年度

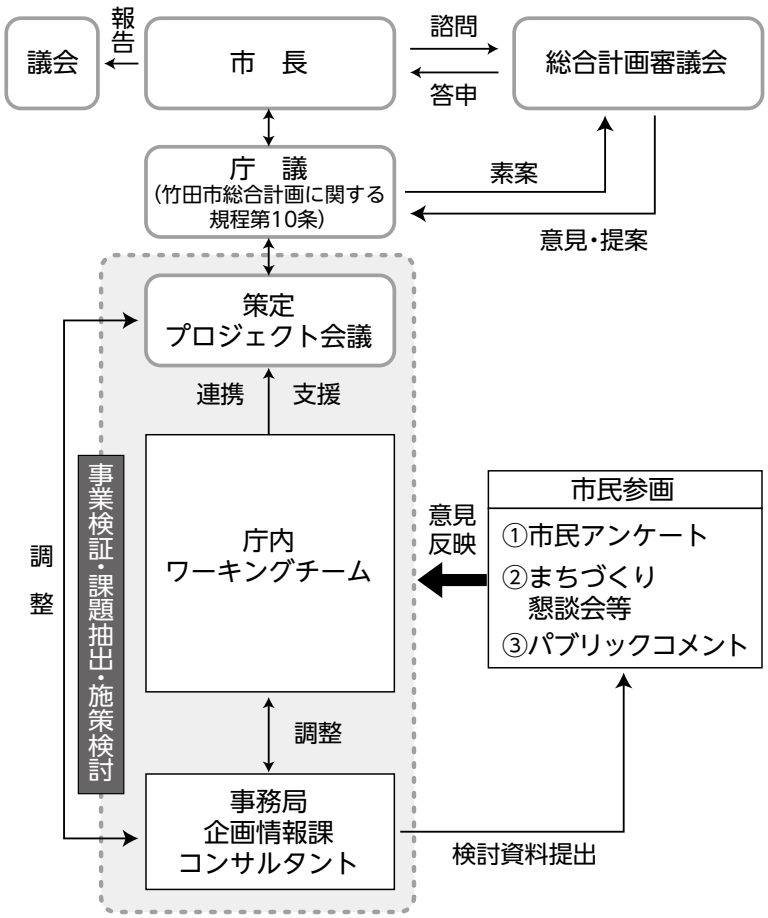
総合計画の策定

まちづくり懇談会	４月～５月
総合計画の策定	６月～12月
パブリックコメント	12月～１月

審議会

４回予定（令和３年～４年）

※竹田市がどのようなまち・社会を目指すのかを話し合う場です。市民アンケート、まちづくり懇談会等、市民の皆さんのご協力をお願いします。

問企画情報課　☎63-4801

総合計画策定体制図